

健康長寿を目指す 最新の取組と 新事業の可能性



2017/ **2/2** 木

14:00~17:35 (受付・開場 13:00~)

京都大学国際科学
イノベーション棟
5F シンポジウムホール

(京都市左京区吉田本町 京都大学吉田キャンパス本部構内)

京都市及び(公財)京都高度技術研究所では、市内医療産業の振興などを推進するため、「京都市ライフイノベーション創出支援センター」を中心に、ライフサイエンス分野の研究開発支援、産学公連携事業、販路開拓支援等を展開しています。

この度、介護分野、ヘルスケア分野のビジネスチャンスとなる「京都市健康長寿産業創出プロジェクト」の創設に向けて、新事業の可能性についての講演と健康長寿につながる取組の紹介を行うシンポジウムを下記のとおり開催します。

シンポジウムに併設し、当センターの支援事例として新製品・サービス等をご紹介します企業展示も行います。

座長

京都市ライフイノベーション創出支援センター 支所長
京都大学大学院薬学研究科 教授 佐治 英郎 氏

プログラム

- 13:00 開場・企業展示
- 14:00 開会
- 14:10 講演①「健康寿命延伸を目指す新たな取り組み
～フレイル予防の意義～」
国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
副院長 荒井 秀典 氏
- 15:20 <休憩・企業展示 20分>
- 15:40 講演②「長寿社会のフロントランナー 日本の挑戦」
東京大学 高齢社会総合研究機構
特任教授 秋山 弘子 氏
- 16:50 講演③「ヘルスケア産業と生体センシング技術の方向性」
オムロンヘルスケア株式会社 技術開発統轄部
統轄部長付き専門職 博士(工学) 志賀 利一 氏
- 17:20 京都市健康長寿産業創出プロジェクトのご案内
- 17:35 閉会 <18:00まで企業展示>

主催 京都市／公益財団法人京都高度技術研究所
後援 経済産業省近畿経済産業局／京都市／京都商工会議所／公益社団法人京都工業会
NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議／京都産学公連携機構
京都産業育成コンソーシアム (順序不同、予定を含む)



定員200名
(先着順)
参加無料

申込みは **WEB** または **FAX** で

詳細は裏面をご覧ください。 **申込締切 1月30日[月]**

↓URL
[http://www.astem.or.jp/lifeinov/
2016symposium-2/2152.html](http://www.astem.or.jp/lifeinov/2016symposium-2/2152.html)

↓FAX
075-762-0071 裏面申込書にご記入のうえ、送信してください。

↓お問合せ
公益財団法人京都高度技術研究所 産学公連携事業本部
京都市ライフイノベーション創出支援センター
TEL: 075-762-0070 FAX: 075-762-0071
E-mail: ikouyaku@astem.or.jp
URL: <http://www.astem.or.jp/lifeinov/>



健康長寿を目指す 最新の取組と新事業の可能性

講演 ①

健康寿命延伸を目指す新たな取り組み ～フレイル予防の意義～

国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
副院長 荒井 秀典 氏

わが国の要支援介護認定高齢者は600万人を超えているが、75歳以上の要介護要因の第一位はフレイルである。フレイルとは、加齢に伴う臓器機能変化や予備能力低下によって外的なストレスに対する脆弱性が亢進した状態とされ、健康な状態と要介護状態の間に位置する。フレイルは身体的要因のみならず、認知的、社会的要因も含まれ、そのアプローチには、チーム・アプローチが有効である。本講演では、フレイルを診断する意義、診断方法、介入方法について概説する。

講演 ②

長寿社会のフロントランナー 日本の挑戦

東京大学 高齢社会総合研究機構
特任教授 秋山 弘子 氏

わが国は世界の最長寿国。長寿は喜ばれるべきものであるが、人口構造の変化に社会構造の変化が追いついていないため、長寿社会は往々にして否定的な印象を与えてしまう。しかし、高齢者は豊かな人的資源であり、また、新たな産業ニーズを創成する。それを活かす社会理念とシステムを創造すれば、長寿社会の諸課題を好機に転換できる。本講演では、長寿社会が抱える課題を客観的に把握しながら、新たな可能性を探る。

講演 ③

ヘルスケア産業と 生体センシング技術の方向性

オムロンヘルスケア株式会社 技術開発統轄部
統轄部長付き専門職 博士(工学) 志賀 利一 氏

近年、少子高齢化、医療費の増大などが大きな社会課題となる中、国民の健康意識の高まりもありヘルスケアデバイスへの関心が高まっている。また半導体、ICT関連の企業などこれまでヘルスケアと関連のなかった他業界からの参入も増加している。オムロンヘルスケアの得意とする生体センシング技術を紹介するとともにヘルスケア産業の今後を研究開発の関連から展望する。

申込方法

申込締切 平成29年1月30日(月)

WEB申込フォームより必要事項をご入力の上、お申し込みください。FAXにて申込みされる場合は、下記申込書に必要事項をご記入の上、個人情報の提供に同意の旨を明記して、下記FAX番号へお申し込みください。

申込先 ▶ (公財)京都高度技術研究所 産学公連携事業本部 京都市ライフイノベーション創出支援センター
URL : <http://www.astem.or.jp/lifeinov/2016symposium-2/2152.html>
FAX : 075-762-0071

※定員になり次第締切らせていただきます。

※申込みいただいた方にご連絡はいたしませんので、直接会場へお越しください。また、参加証の発行はいたしません。定員の都合上ご参加いただけない場合にものみご連絡させていただきます。

当センターでは、公的支援プログラム・各種セミナーをはじめ 医・工・薬・ヘルスケアに関する様々な情報をメールマガジンで配信しています。ご登録はこちらから。

<http://www.astem.or.jp/lifeinov/bmp-net>



フリガナ			
お名前		TEL / FAX	
ご所属 (企業、大学、機関等)		E-mail アドレス	
部署・役職			

事務局における個人情報の取扱いについて

FAX申込書において知り得た個人情報は、以下のとおり取扱わせていただきます。

下記「個人情報の取扱いについて」を確認し、同意のうえ申込みます。

同意する (チェック をお願い致します。)

1. 個人情報の利用目的

本申込書にご記入いただきました個人情報は、当財団で管理させていただき、本イベントの運営にかかわる資料の作成、当事務局からのご連絡、及び今後当財団が主催、共催または後援する催事のご案内に利用させていただきます。

2. 個人情報の提供について

本事業は、京都市の委託事業であり、事業実施報告のため、ご氏名・ご所属等を京都市に提供することがありますが、それ以外では、法令に基づく場合を除き第三者に貴殿の個人情報を提供することはありません。

3. 個人情報の委託について

第三者に貴殿の個人情報を委託することはありません。

4. 通知、開示、訂正、利用停止、削除をご希望の場合

ご提供いただきました個人情報に関して、利用目的の通知、開示、訂正、利用停止、削除を希望される場合には、ご利用者本人の要求であることを確認したうえで、所定の手続きにより、合理的な期間および範囲で通知、開示、訂正、利用停止、削除を行います。6の問合せ先へご連絡ください。

5. 個人情報を記入するにあたっての注意事項

ご記入いただく項目に不足がある場合は、本イベントへの参加をお断りする場合があります。

6. 個人情報保護管理者と問合せ先

<事業者の名称> 公益財団法人京都高度技術研究所
<個人情報保護管理者> 総務部長
<窓口> 総務部
所在:京都市下京区中堂寺南町134番地
TEL:075-315-3625(代) / FAX:075-315-3614
URL:<http://www.astem.or.jp>
※電話受付時間は、平日(月～金※祝祭日を除く) 9:00～17:00まで。

※財団の個人情報保護方針の詳細は、<http://www.astem.or.jp/privacypolicy> でご確認ください。